

同窓会だより

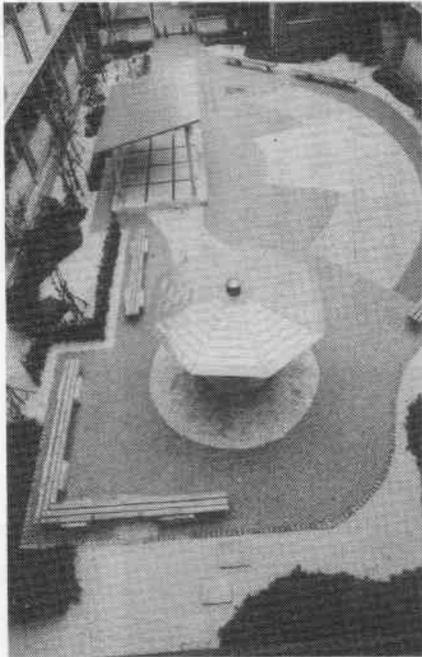
'91/4 No.3 埼玉県立坂戸高等学校同窓会 坂戸市上吉田586 (0492)81-3535

坂高満二十歳!

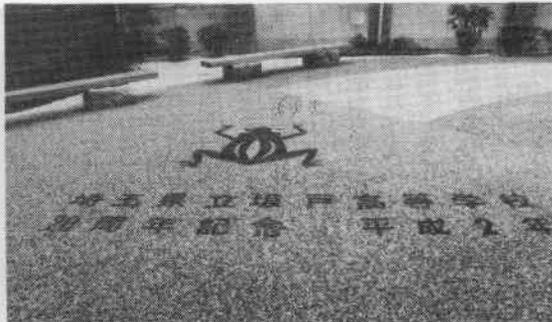
— 創立二十周年記念行事開催 —

昭和四十六年四月坂戸中学校の仮住まいで坂高は産声をあげ、翌年現在の場所へ校舎を建設し、年々大きくなってきましたが、平成二年度で二十年、やっと大人の仲間入りができました。

二十周年を記念して平成三年十一月三十日に初代校長の松崎宗吉先生をお招きして、「記念講演会」を開催しました。また、ホームルーム棟と特別棟の間をしやれた日本庭園風の広場として整備しました。さらに、写真を多く使い「坂高二十周年史」を発行しました。



中庭の全景



中庭の整備工事風景

二十周年記念講演会に臨んで

同窓会長 坂本 毅(二期)



をバックアップしていきたいと、改めて思いました。

さて、同窓会では今年、第二号の「同窓会だより」を発行することができました。また、春の文化祭では、今年もゲスト講演会を企画するとともに、卒業生の集いを開催することにもなりました。

昨年十一月三十日、坂戸高校創立二十周年記念講演会が、母校体育館で行われました。私も同窓会長として出席させていただきました。私も同窓会代校長松崎宗吉先生の講演を聞かせていただきました。

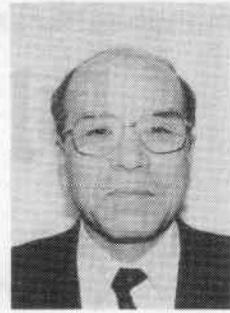
同窓会もまもなく二十周年を迎えます。これからも、会員の皆さんの御意見、御要望に沿った会の運営に当たっていきたくと考えておりますので、御協力をお願いします。

松崎先生は、退職なさった今でもお元気で、創設当時の思い出などもお話しになられました。私は、懐かしいひとときを過ごすと同時に、同窓会としてこれからも坂高



創立二十周年を迎えて

前坂戸高校校長 吉野 政 治



坂戸高校も平成二年度で創立二十周年を迎え、記念事業として記念講演会や記念誌の刊行、中庭造園工事などをPTA、後援会の御支援により行いました。おかげさまで二十年にわたる本校の歩みを振り返ることができ、将来の展望を考えるよい機会を持つことができました。

昨年十一月二十日の記念講演会では、初代校長の松崎宗吉先生をお招きいたしました。先生は、開校当時の手帳をめくりながら始終熱弁をふるわれ、創設の御苦労をいくらかなりとも理解することができました。

折しも、学校活性化委員会が発足したところでしたので、坂戸の将来構想を考えて外国語科を設置して、生徒・保護者並びに地域からの要望に応え得る、特色ある学校づくりをしようという結論に達

し、即刻、県当局に要望書を提出しました。また、プール、部室兼用棟も、平成三年度に竣工することが決定的となりました。

施設、設備を充実することは、学校の命運にもかかわる素晴らしいことですが、これらの運用を図るのは人であり、目標を達成するために人の力は大切であると思っています。

二十年間の教育活動で積み重ねられた力を結集して、新生坂戸高校の特色ある学校づくりに最善の努力を傾注していきたいと考えております。

同窓生の皆さんにも、新生坂戸高校の誕生に絶大なる御力添えをいただきたく、お願い申し上げます。



第二回 春の文化祭開催

ゲスト講演昨年に引き続き行う



ト講演会を企画しました。

今回は、「生きるということ」と題して日本テレビアナウンサーの小林完吾さんをお招きして、予定時間を超えてお話しいただきました。

また、初めての試みとして、坂戸文化会館の一室をお借りして、「卒業生の集い」を懇親会を中心に開催しました。

今回の企画に御協力いただいた学校関係者の皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。



卒業生の集い

平成二年度同窓会総会報告

平成二年四月十五日、平成二年度同窓会総会が、母校の「文化部総合発表会」と合わせて坂戸文化会館で開かれました。

坂本会長のあいさつのもと平成元年度事業報告、会計報告に続き、平成二年度事業計画案、予算案が審議され、それぞれ承認されました。

総会に参加して

関根和幸(十七期)

総会に参加してみると、立食パーティーで、さらに気さくな先輩が飲物を勧めてくださったりとなかなか楽しい時間を過ごせました。堅苦しいと思ってしまう人もあると思いますが、和気あいあいとしていて、楽しい会でした。

平成二年四月十五日坂戸文化会館において、「坂戸高校春の文化祭第二回文化部総合発表会」が、開催されました。

今回は、前回に況して活気があ

り、生徒一人ひとりの顔に自信が見られたうえ、

楽しそうにしていたのが印象的でした。内容も充実して完成度の高い文化祭でした。

同窓会も昨年に引き続きグ



小林完吾氏

母校近況

坂戸高校 吉田勇一先生(三期)



第二十六回高校放送コンテスト

県決勝大会出場

(埼玉会館小ホール)

アナウンス部門

渡辺 桂 (優秀賞受賞)

朗読部門

伊東満志 (優秀賞受賞)

ラジオ番組製作課題部門

坂戸高校放送部製作番組

「どう思うある？」

受験生のひとこと

(優秀賞受賞)

コーラス部県合唱祭出場

(大宮市民会館)

七月

第二十七回NHK杯全国高校

放送コンテスト放送部出場

(NHKホール)

アナウンス部門

渡辺 桂

朗読部門

伊東満志

八月

全国高校総合体育大会出場

(仙台市)

杉田雄規 走幅跳 九位

堀毛智宏 三段跳 八〇〇m

関東高校演劇

堀毛智宏 八〇〇m

フェスティバル大会出場

(東京グローブ座)

九月

ジュニアオリンピック大会出場

杉田雄規 走幅跳 一位

関東七県対抗陸上競技大会出場

(千葉)

堀毛智宏 八〇〇m 二位

埼玉英研英文コンテスト

上級の部第三位鈴木健司(三年)

初級の部奨励賞清水和久(一年)

十月 第四十五回国民体育大会出場

(とびうめ国体 福岡県)

杉田雄規 走幅跳 六位

▽教職員のみ

転入

杉田治正(児玉高より)

山田正志(県教育局より)

角田祐一(桶川高より)

松崎直美(熊谷市立女子高より)

羽根田敦子(杉戸農高より)

瀬尾宗良(常勤講師へ)

転出

小河原栄一(吉見高へ)

鈴木 豊(宮崎県へ)

印出史子(鳩山高へ)

退職

吉野政治・福島真三・田中一枝

坂高在職中は色々ありがとうございます

ございました。今後のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

■同窓会によせて

白井先生との再会

大貫 敬子(六期)

昨年の同窓会に出席したとき、

一、二年生のとき担任していただき

つた白井先生にお会いすることが

できました。卒業以来だと思いの

で十数年ぶりの再会です。

私がいさつすると同時に、

「やあ、大貫は、まだ大貫のまま

か？」

と声をかけてくださいました。長

い間お会いしていなかったのだ、

大勢の中の私一人のことなどもう

忘れてしまったかもしれないと思

っていたのに、名前まで覚えてい

てくださったことをとても嬉しく

思いました。当時、先生が坂高に

転任して来られて、初めての女子

生徒に戸惑いを感じていたことや、

クラス替えをするとき感じた淋し

さ等のお話をお聞きしました。

今、自分も教える立場になり、

坂高時代ののんきな私達を思う先

生の気持ち、少し分かったよう

に思います。

今度お会いするときは、旧姓が

使えるといいんだけど……。

あと数ピース

秋山 真(十八期)

昨日、自分の乱れ捲っている心

を落ちつけるために、ジグソーパ

ズルを始めた。集中力を養うには

もってこいのものだ。

高校生活、数千ピース、時間が

かかりそうできて、結構早く完成

に近づく。それを見返すと、絶対

に抜かしておきたいようなピース

や、それだけですべてを埋めたい

ピースなど様々だ。しかし、それ

らのどこか一つが欠けてもパズル

は完成しない。それどころか色々

なピースがあつてこそ面白いもの

が出来上がるのである。

人それぞれだから、中には一色

で埋まっている人もいるだろう。

自分のを見て見ると、暗い色が所

所であり、また所々に輝くピース

がある。でも、暗い色のピースも

日がたつにつれ色鮮やかになって

いくことだろう。そして、すべて

が想い出に変わる時、高校生活と

いうジグソーパズルが初めて輝き

を見せることだろう。

あと残されたのは、卒業という

ピースだけになった。それを埋め

るとパズルは完成してしまふ。で

きれば、ずっとこのままにしてお

きたい。

事務局より

平成三年度

同窓会総会討議資料

平成三年度に役員改選を行います。改選後の役員は、次のとおりです。

《新役員》

会長 坂本 毅(二期)
副会長 小塚 市郎(三期)

清水 芳昭(五期)

会計 小園 雅子(八期)

監事 浅野 昭一(九期)

細田 淳一(九期)

平成三年度から新しく役員に加わる方々です。

十八回生評議員

- 一組 青島 衛・堀金 研吾
- 二組 大附 孝行・大那 正毅
- 三組 佐藤 節子・野田 敦子
- 四組 深海 正芳・山崎 圭子
- 五組 黛 美穂・長谷部 誠
- 六組 小久保亮俊・八頭司千春
- 七組 関谷 修・若林 大介
- 八組 井上 英一・加納亜紀子
- 九組 水野 大輔・三宅明日香
- 十組 山崎 光明・早坂 里美

平成2年度 会計報告(単位は円)

1. 歳入

科目	予算額	決算額
繰越金	76,603	76,603
17回生入会金	2,044,000	2,044,000
雑収入	4,000	4,489
合計	2,124,603	2,125,092

2. 歳出

科目	予算額	決算額
庶務費	400,000	416,610
会議費	200,000	111,982
慶弔費	50,000	0
事業費	1,450,000	1,448,956
(春の文化祭)	(950,000)	(748,956)
(調査準備金)	(500,000)	(700,000)
予備費	24,603	0
合計	2,124,603	1,977,548
繰越金		147,544

平成2年度 事業報告

- 4月2日 総会新聞通知発表
- 4月7日 役員会(総会、春の文化祭準備)
15日 総会 坂戸文化会館
春の文化祭/特別講演
ゲスト 小林完吾氏
(日本テレビアナウンサー)
「同窓会だより」第2号発行
- 7月7日 役員会(総会、春の文化祭反省)
- 8月17日 役員会(20周年記念
事業について)
- 9月9日 役員会(20周年記念
事業について)
- 12月29日 役員会(春の文化祭、
「同窓会だより」の準備)
- 1月26日 役員会(春の文化祭、
「同窓会だより」の準備)
- 3月17日 役員会(総会、春の文化祭
の準備)

平成3年度 予算(案)(単位は円)

1. 歳入

科目	予算額
繰越金	147,524
18回生入会金	1,904,000
雑収入	4,000
合計	2,055,524

2. 歳出

科目	予算額
庶務費	400,000
会議費	200,000
慶弔費	50,000
事業費	1,400,000
(春の文化祭)	(600,000)
(調査準備金)	(800,000)
予備費	5,524
合計	2,055,524

平成3年度 事業計画

- 4月13日 役員会(総会準備)
21日 総会 坂戸文化会館
春の文化祭/特別講演
ゲスト 半田淳子氏
(びわ奏者)
「同窓会だより」第3号発行
- 8月 役員会
- 11月 役員会
- 2月 役員会
- 3月 役員会

編集後記

編集委員として、第三号を作り終えてホッとしております。今回は、新しい編集委員が加わりとても助かりました。それから、御協力いただいた皆様にご場をお借りしてお礼申し上げます。

《同窓会だより》(第三号)

編集発行

埼玉県立坂戸高等学校同窓会

印刷 トキワ印刷所

電話 二一〇八六五